

横浜市政記者会

2026年6月16日
横浜市立大学
株式会社ディー・エヌ・エー

横浜市立大学附属病院と DeNA が共同研究講座を設置 DeNA 社員が病院に駐在し医療現場の課題を直接把握、 2年間で段階的システム実証を目指す

公立大学法人横浜市立大学（所在地：神奈川県横浜市、理事長：近野 真一、以下「横浜市立大学」）と株式会社ディー・エヌ・エー（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長兼 CEO：岡村 信悟、以下「DeNA」）は、2026年3月に締結した包括連携協定に基づき、同年6月より横浜市立大学附属病院内に2年間の共同研究講座を設置し、医療現場のDX推進に向けた具体的な取り組みを開始しました。DeNAからは6名の社員が共同研究員として参画し、院内の医師・看護師・医療事務担当者に密着して現場課題を調査・把握したうえで、新たな医療DXモデルの構築を進めます。2026年中に初期モデル（α版相当）、2027年中に実用モデル（β版相当）の策定を目指し、順次、現場での実証と改善を重ねながら展開してまいります。



横浜市立大学の医療スタッフへ実施した学内説明会の様子

■ 背景

横浜市立大学附属病院を含む日本の医療現場では、医療情報システムが施設・部門ごとに個別最適化されてきた結果、データ連携が難しく、医師・看護師が情報入力や確認作業に多くの時間を費やす状況が続いています。また、部門ごとにデータが分断されているため、研究への活用も困難という課題があります。

近年は国として全国医療情報プラットフォームの整備が進み、本格的な医療DXが実現する段階を迎えています。医療機関単独での大規模DX推進には制度面・セキュリティ面での

制約も多く、産学連携による高度化の取り組みが求められていました。

両者は 2022 年 8 月にデータサイエンス分野の産学連携協定を締結して以来、共同研究やイベント開催を通じて連携を深めており、2026 年 3 月の包括連携協定締結を経て、今回の具体的なプロジェクトが始動しました。

■ 活動の概要

1. 共同研究講座の設置（2026 年 6 月～2 年間）

横浜市立大学附属病院内に共同研究講座を設置します。DeNA から 6 名が共同研究員として所属し、院内の医師・看護師・医療事務担当者の業務に密着。DX で改善できる点を調査したうえで、医療 DX モデルの具体化につなげます。

2. 患者ジャーニー全体の課題把握と DX 実証

患者の受診から入院・退院までの「患者ジャーニー」全体を俯瞰し、問診・情報入力・部署間の情報共有・看護記録・外来と病棟間の連携など、繰り返し発生している業務の非効率を可視化します。

患者にとっては待ち時間や手続き負担の軽減、医療従事者にとっては業務負担の軽減を目指し、2026 年中に初期モデル（ α 版相当）、2027 年中に実用モデル（ β 版相当）を策定し、現場での実証につなげます。

3. 院内業務改善チーム・地域連携推進チームの設置

診療科・看護部等が参画する「院内業務改善チーム」が院内の現状調査と DX 実践を担い、「地域連携推進チーム」が地域医療機関・自治体との連携モデルの検討・実現を進めます。将来的には神奈川県内の病院や診療所との連携拡大も視野に入れていきます。

4. 次世代医療支援プラットフォームを目指したデータ活用モデルの構築

電子カルテ・医用画像・バイタル・ゲノムデータなど多様な医療データを統合し、研究・病院経営・教育の各領域で活用できるプラットフォームのあり方を共同で研究・検証します。インターネットと AI を活用して機能を継続的に追加・更新できる設計や、従来の初期投資型から診療実績連動型へと転換をはかる新たな費用モデルなど、医療機関の導入負担を軽減する次世代の基盤を検討します。まず横浜・神奈川でのモデル構築から始め、将来的には全国の医療機関へ展開可能な汎用モデルとしての確立を目指します。

■ 公立大学法人横浜市立大学について

横浜市立大学は、5 学部、6 研究科、附属 2 病院を擁する総合大学であり、開国・開港の地・横浜にふさわしく、豊かな教養と高度な専門性を備えた世界で活躍できる人材を育成することを使命としている。国際都市・横浜における教育・研究・医療の拠点となることを目指し、社会の発展に寄与し市民の誇りとなる大学づくりを進めている。

URL: <https://www.yokohama-cu.ac.jp/>

■株式会社ディー・エヌ・エーについて

DeNAは、「一人ひとりに 想像を超える Delight を」というミッションのもと、ゲーム、ライブコミュニティ、スポーツ・まちづくり、ヘルスケア・メディカルなど幅広く事業を展開していることが特長です。創業以来、挑戦心あふれる社員の強い情熱と高い技術力を中軸に数々の事業を生み出し、顧客ニーズを的確に捉えた付加価値の高いサービス開発から運用までを行っています。現在、AI を中核とした中長期の成長に向けて、AI エキスパートチームを中心に生産性向上・既存事業の競争力強化のほか、新規事業の創出・グロースに取り組んでいます。1999年3月設立、東証プライム市場上場（銘柄コード:2432）。

URL: <https://dena.com/jp/>

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

横浜市立大学は、
様々な取り組みを
通じてSDGsの達
成を目指します。

